

# インドで思ったこと その③ インド亜大陸 国土と気候

## インド亜大陸の概況

インドは北にヒマラヤ山脈がそびえ、東と西はベンガル湾とアラビア海に囲まれ、南にはインド洋が広がっています。面積はヨーロッパよりも広く、平原や砂漠、山脈などがあります。各地域の風土や歴史、言語、人種は多様です。パキスタンやバングラディッシュを含め、

た広大な地域はインド亜大陸と呼ばれています。インド地域についてはインド半島ということもあります。その面積は日本の約九倍、人口は三年前に十一億人を超え世界第二位です。

地球物理学的に云うと、超大陸パンゲアが分裂してできたインド大陸は一億数千万年前には現在のマダガスカル島の近くにあったと



約1億4000万年前陸(ジュラ紀末)の大

考えられています。地球の表面を覆っているプレートは北上をはじめ、約四千万年前にユーラシア大陸に衝突。ユーラシア大陸の下へ

## インドの気候

わたしが訪れたインドの北部では六月から雨季がはじまります。空はどんよりと曇り、時折はげしい雨がふります。ガンジス川はヒマラヤの雪解け水で水量が増し、濁流となって大蛇のように平原をつなげて流れていました。乾季は十一月から翌年の二月頃まで。冬には首都のデリーでも雪が降るほど寒い日があるそうです。インド旅行には気温が安定するこの時期が最適。一月の独立記念日の行事は

華やかで、インド旅行のキャラクター便が企画されるもの頃です。気候がもっとも厳しいのは四月、五月で西の砂漠から熱波が流れ込み、日中の気温が五十度になる日があるとのこと。そのため学校は休みになり、七月から新学期がはじまります。

## インドの歴史やインド人の気質に触れれば

日本ではインドへの関心は高いとは云えずインド観光は人気がありません。確かにインドよりヨーロッパに行くほうが街もきれいで、観光スポットも多く食事やショッピングを楽しむことができます。しかしそれでもインドに魅了されて何度も訪れる人もいます。それはインドの歴史やインド人の気質にふれて共感することが多いからではないかと思いましたが、そのことについては次回にします。

(もりとしあき)

(もりとしあき)

# 続



## サイエンティストの目

### 森 利明

(もり としあき)

大阪府立大学 先端科学イノベーションセンター